

ウミウ

ペリカン目ウ科

Phalacrocorax capillatus (Temminck & Schlegel)

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

選定理由

石川県では唯一七ツ島の大島、烏帽子島で繁殖し、繁殖個体数も少ない。

形態

全長84cm。カワウによく似るが、体の大部分を占める光沢ある黒色は緑がかっている。繁殖期には雌雄ともに顔に白く細い羽毛を生じ、足の付け根に白色斑を生じる。幼鳥は褐色で下面は淡く、若鳥も褐色味が強く、下面も淡い傾向がある。長めの嘴の先端はかぎ状に曲がって鋭く、魚を捕らえるのに適している。

国内分布

北海道から本州中・北部の島や沿岸で繁殖する。日本海周辺部からオホーツク海、南シナ海まで分布する。国内の繁殖数は2,000~3,000つがい。

県内分布

繁殖は七ツ島の大島、烏帽子島のみであり、数十羽が繁殖していると思われる。冬期は県内各地の海岸に生息する。

生態

荒海に面した岩石の多い海辺や、断崖の続く海岸などに好んで生息する。群れで生息することが多く、集団で時をとり、また営巣する。断崖の岩棚などに枝や草で巣を作る。4~5月に産卵し、5月下旬から6月孵化し、巣立ちは7~8月である。

生息地の条件

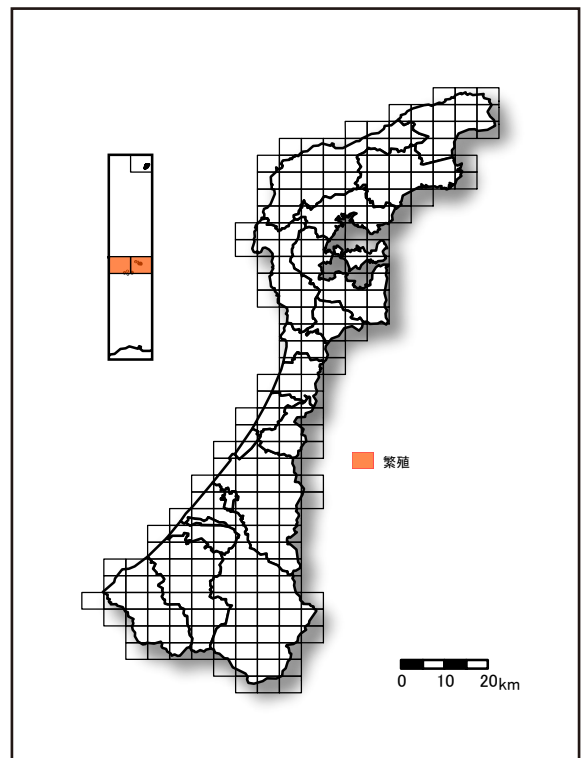
繁殖地としてヒトが近づかない断崖の岩棚を必要とする。まわりの海域は餌が豊富なこと。

生存の危機

繁殖個体群は少なく、繁殖地も七ツ島のみである。何らかの環境破壊がおこれば繁殖個体群が消滅する恐れがある。(A)



ウミウの繁殖地



県内の分布